



WAKAZE 稲川代表（左）、「Bellwood」鈴木氏（右）

# ビジョンは「日本酒を世界酒に」 WAKAZE 稲川琢磨代表に聞く

——スパークリングSAKE「SummerFall」について

稲川 手軽に飲める新しいクラフトSAKEとして街入りの「SummerFall」（250ml缶、アル分11%、参考小売価格税別398円）を今年1月13日から日本・アジアで発売開始しました。

ありがたいことに、ベンチャー企業ではなかなか入っていないコンビニ（ローソンほか）や酒類専門店（やまや、イオンリカー、リカーマウンテン、信濃屋ほか）、スーパー（オーケーストアほか）や百貨店（東急ほか）の店頭と並び、発売当初から目立った動きで展開できました。全国発売してくれたチェーンもあり、その後は着実にファン

がついています。缶製品なので広がるまでに時間がかかるかと考えていましたが、現在ではファンが広がっていることに手応えを感じています。

——今回はタップバーをオープンします

稲川 缶の「SummerFall」を発売した時から、どこかのタイミングで実店舗で体験価値を伝えられるような場所を持ちたいと思っていました。

ただ当時は、その形態に

## WAKAZE、渋谷に初の直営店 フレイバーカクテルのタップバー

### フレイバーカクテルのタップバー

WAKAZEは10月30日から、スパークリング日本酒「SummerFall」（サマーフォール）ブランドの初の直営店舗「SummerFall TAP COCKTAILS（サマーフォールタップカクテルズ）」を東京・渋谷区にオープンした。

日本酒をベースに、ほうじ茶や梅、柚子などの日本由来のフレイバーカクテルを20種類提供しているタップバー。

オープンに先立つ24日にはメディア発表会を開き、稲川琢磨代表取締役CEOは初めに、同社の概要などを説明し

関して模索している段階でした。そうした中で、カクテルの切り口が自分の中に戻ってきました。縁があり、世界トップランクのバーテンダーである「Bellwood」の鈴木敦さんとお会いする機会に恵まれ、話が聞いて形となったのが「SummerFall TAP COCKTAILS（サマーフォールタップカクテルズ）」（東京渋谷）です。世界ではカクテルが結構な勢いで伸びています。ここを



タップバーとカクテル

た。「2016年に、『日本酒を世界酒に』というビジョンで会社を設立した。18年に東京の三軒茶屋、19年にフランスで「SAKE醸造」を開始し、24年にアメリカでRTDの発泡日本酒を発売した。今



店舗に並ぶ「SummerFall」

「日本酒とかけ合わせることでなにかできるのではないかと考え、タップでの提供につながりました。クラフ

トビールの世界では一般的ですが、「タップからカクテル」というのは新しい発想だと自負しています。

タップが20並ぶと結構なインパクトですし、またほうじ茶、黒糖、シソ、ジャスミン茶など身近な素材を使っていることで、中身がわかりやすく、選びやすくしています。

またロケーションも渋谷の再開発が進むエリアでこれからの発展が期待できますし楽しみです。

### 【記者の目】

WAKAZEには宝ホールディングスが出資している。稲川代表も、製品が多くの販売店に並んだことや、酒類業界についての学びの面でも、グローバル企業の出資による部分が大きいと語る。一方でWAKAZEのイノベーションなSAKE造りの領域は、発想や海外展開も含め、宝グループにも新たな一面をもたらすと見る。

（松丸浩二）

「タップカクテルバーは、日本ではなかなか見られない営業形態。フランスにある弊社直営バーでタップから提供していたが、日本では初の挑戦的な取り組みである。

店の魅力は、世界トップランクのバーテンダーである鈴木敦氏が監修したカクテル。そして、タップから注ぐことで、新鮮な日本酒カクテルを提供可能だ。新感覚カクテルは、見た目と味わいにもこだわっており、気分に合わせて直感的に選んでいただけるようなラインアップに仕上げた。ノンアルから本格派まで取り揃えている。若年層やインバウンドが多い渋谷で直営店を開くことで、我々が提供する日本酒をより多くの方に

知ってもらい、楽しんでもらいたい」と述べた。

店舗では6種類のカクテルや店舗販売する唐揚げなどのつまみが振る舞われた。「Hôji Negroni」は、ほうじ茶とジンで割ったもの。「Senchamojito」は煎茶とラムで割ったもの。「KokutoCaféTini」は、黒糖と水出しコーヒーを使用したカクテル（いずれも税込1800円）。ノンアルも用意しており、「CornTea&Chili」は、コーン茶とオレンジを混ぜ合わせた（同900円）。

《店舗情報》場所＝東京都渋谷区宇田川町42-14 ▼営業時間＝午後5時～午前1時（月曜日休み）。（島崎毅史）

また、本店舗について、